

他都市における庁舎機能一覧①

資料 4

番号	都市名	区分	人口 (H26.4.1現在)	市民サービス	まちづくり	行政事務
1	青 森 市	中核市	296,215	【窓口機能】 ・総合窓口の設置，フロアマネージャーの配置 ・ユーティリティ窓口（臨時窓口）の開設 【相談機能】 ・相談窓口の統合・連携強化 ・個室相談室の設置 【案内機能】 ・総合案内の設置，案内表示の充実		【執務機能】 ・オープン，フレキシブルな執務空間 ・動線を考慮した効率的な執務室，会議室の配置 ・連携しやすい執務室の配置 【ＩＣＴ機能】（注１） ・ＩＴ環境の変化に対応可能なＯＡフロアの採用
2	秋 田 市	中核市	319,497	【窓口機能】 ・市民利用の多い窓口は低層階に集約配置 ・窓口業務を支えるＩＣＴ機器システムの導入 【相談機能】 ・相談機能の区分（一般相談窓口と専門相談窓口）と集約配置 ・窓口カウンターへのパーティションや相談室を設置 ・キッズスペースの設置 ・相談窓口機能の拡充（相談窓口での申請手続き） 【案内機能】 ・総合案内機能の充実（多様な案内表示機能，案内・誘導機能の導入） ・コールセンター機能の導入可能性の検討 【市民交流機能】 ・「市の顔」としてふさわしい屋外・エントランスの空間づくり ・市民協働・交流の拠点となる多目的スペース等の設置 ・会議室など市民向け貸し出しスペースの設置 【情報発信機能】 ・行政情報スペースの設置 ・効果的な行政情報提供のための工夫 【利便施設機能】 ・市民や職員が利用しやすい食堂・売店の設置 ・銀行，ＡＴＭの設置のほか，郵便局やカフェの新規導入の検討 ・子育て支援スペースの設置		【執務機能】 ・働きやすい執務スペースの実現 ・将来変化に柔軟に対応できるユニバーサルフロア（注２）の実現 ・業務上のつながりに配慮した課所室配置 ・課所室内に打合せスペース，各フロアに共用会議室を設置 ・柔軟性の高い全庁共用の会議室の設置 ・職員が健康を維持し，職務を円滑に進めるために必要な機能を導入 【ＩＣＴ機能】 ・フリーアクセスフロア（注３）構造の採用 ・個別システムのサーバーの集約化 ・将来の情報化の動向を見据えた対応の検討 【文書等保管機能】 ・保管文書量のスリム化を図り，文書容量を削減 ・書架・書庫・倉庫を課所室，各フロア及び全庁に計画的に配置 ・永年保存文書の劣化等への対応 【施設管理機能】 ・更衣室の設置，ロッカーの集約
3	長 野 市	中核市	384,202	【窓口機能】 ・総合案内所の設置 ・総合窓口（ワンストップサービス（注４））を低層階に設置 【相談機能】 ・プライバシーに配慮した仕切りや，ブースを設置 【市民交流機能】 ・１Ｆに待合やギャラリーなど多目的利用が可能な市民交流スペースを設置 ・セキュリティを確保しながら，執務時間外の利用が可能となるような計画 【利便施設機能】 ・市民利用が可能なレストラン，カフェ，売店を設置（民間委託が可能な配置） ・夜間や休日でも使える住民票の自動交付機の設置の検討 ・金融機関のＡＴＭは低層階に配置 ・喫煙スペースは市民が多く利用する階に設置	【その他】 ・長野の美しい自然背景，街並みに調和するように，建物高さは周囲とのつながりをもたせ，建設場所に調和した色彩計画 ・市民や観光客が気軽に訪れることができる開放的なデザイン ・新庁舎の外観は新市民会館との調和に配慮 ・敷地の入口は歩行者が入りやすいデザインや動線とし，アプローチ空間に適度なベンチなどを設置	【執務機能】 ・デスクやレイアウトの基準を統一する「ユニバーサルプラン（注５）」を採用 ・市民と相談や打合せができるブース・相談コーナーを配置 ・階高や天井高，配線管路は将来の変更にも柔軟に対応できるよう配慮 ・庁内の各システムを専用サーバー室へ集中配置 【文書等保管機能】 ・統一規格の保管用具を用い，集中配置と共有化を行うことによる省スペース化 ・ペーパーレス化の推進による，公文書の50%削減を目標

他都市における庁舎機能一覧①

資料 4

番号	都市名	区分	人口 (H26.4.1現在)	市民サービス	まちづくり	行政事務
4	岐 阜 市	中核市	415,113	【窓口機能】 ・窓口業務の低層階への集約（ワンストップサービス） ・受付・処理状況の情報提供 ・多機能トイレ，キッズスペース，授乳室の設置 【案内機能】 ・総合案内所の設置及びコンシェルジュを配置 ・わかりやすい庁舎案内板の導入，障がい者，高齢者，外国人市民にもわかりやすい案内方法の導入 【相談機能】 ・プライバシーに配慮したブース，相談室等の設置 【アクセス機能】 ・来庁者用駐車場の整備 ・路線バスのアクセス性・利便性の確保 ・自転車駐輪場等の整備 【市民交流機能】 ・市民等が気軽に訪れやすい正面玄関・ロビーの整備 ・市民同士が交流する空間の創出 【情報発信機能】 ・市政情報コーナーの設置 ・企画・展示スペースの確保 【便利施設機能】 ・市民や職員が利用しやすい食堂，売店の設置 ・金融機関やＡＴＭの設置	【中心市街地活性化】 ・中心市街地に交流拠点を担う複合施設が整備予定があり当該庁舎とは機能分担と連携を図る 【その他】 ・機能性や周辺との調和を考慮した建物デザインの採用	【執務機能】 ・間仕切のないオープンフロアの採用 ・機能的な執務空間のレイアウト ・業務上のつながりを考慮した課の配置 ・少人数の打合せスペースの適正配置 ・庁内共用の会議室の配置 【ＩＣＴ機能】 ・ＩＣＴ利用活用に必要なシステム，設備等の導入 ・フリーアクセスフロアの導入 【文書等保管機能】 ・文書保管スペースの効率的な確保 【施設管理機能】 ・収蔵庫の確保 ・業務用物資，廃棄物等の搬出入空間の確保 ・休養室の設置 ・更衣室及びロッカーの設置
5	下 関 市	中核市	276,369	【窓口機能】 ・オープンフロア（注６）形式の窓口 ・総合窓口システム（ワンストップサービス）又は窓口集約型（ツーストップサービス（注７））を採用 ・車椅子利用者などに配慮したローカウンター形式の窓口 ・繁忙期など臨時に開設できる多目的窓口スペースの確保 ・待たせない窓口システムの構築（番号カード機の導入，待ち時間や処理時間を示す案内表示板の設置など） ・インターネットを活用した電子申請・受け取りサービスの導入を検討 【相談機能】 ・プライバシーに配慮したブース，相談室の設置 ・関係性の高い内容の相談窓口の集約（ワンストップ化）又は近接配置 【案内機能】 ・わかりやすい出入口，トイレ，エレベーターの配置 ・総合案内カウンターや総合案内サインを設置 ・人的な案内誘導を行う案内係の配置を検討 【市民交流機能】 ・様々な活動の場，交流の場，憩いの場として市民交流スペースを設置 ・市民の楽しみの場として最上階に展望ロビーの設置検討 【情報発信機能】 ・市政に関する総合情報コーナーの設置 ・公文書のデータベース等と連携した外部電子情報の閲覧 ・行政情報のデータベース化，情報提供システム（広報誌やホームページ）の充実 【便利施設機能】 ・食堂や売店は一般市民が利用しやすい位置に設置		【執務機能】 ・組織改編等に柔軟に対応できるように，フリーアクセスフロア，可動間仕切り又は改修が容易な乾式壁を採用 ・同一部局や関連する部署は同一フロア又は近傍のフロアへ配置 ・一般市民動線と職員動線の分離に配慮し，職員用や業務運搬用エレベーターの設置を検討また，業務用の出入り口を設けるなど，物品等の搬入動線の一般市民動線との分離に配慮 ・会議室は共用化や可動間仕切りを設けるなど，スペースの有効活用を検討 ・各課には手軽に利用できる打合せスペースを確保 【ＩＣＴ機能】 ・コンピューター室は適切配置とともに，システムの作業ルームを確保 ・電源等を含めたシステムのバックアップ機能を構築 【施設管理機能】 ・休養室やリフレッシュコーナーを設置 【文書等保管機能】 ・良く利用するものは近傍に，長期保存は集約管理し，使い勝手とスペースの有効活用の両立

他都市における庁舎機能一覧①

資料 4

番号	都市名	区分	人口 (H26.4.1現在)	市民サービス	まちづくり	行政事務
6	高 知 市	中核市	336,845	【窓口機能】 ・窓口部門の集約配置 （低層階への集約やワンフロアへの配置） ・総合的窓口の設置（証明等発行業務） ・窓口業務を支える効率的なシステムの導入 ・窓口に応じたゆとりある待合スペースの確保 ・番号待ち，順番待ちが一目で分かる情報画面の設置 ・繁忙期などに臨時窓口が設置できるフレキシブルな空間 【相談機能】 ・プライバシーに配慮したブース，相談室等の設置 【案内機能】 ・総合案内の設置 ・案内業務の工夫やフロアアドバイザーの配置 【市民交流機能】 ・市民の様々な活動や交流に利用可能な多目的スペース ・オープンスペースとしての前広場の継承 【市民活動支援機能】 ・市民が快適に利用できるエントランス空間・休憩ロビー 【情報発信機能】 ・充実した市政情報・議会情報コーナーの設置 ・多様な情報案内機能の設置 【便利施設機能】 ・金融機関，ＡＴＭの設置 ・誰もが利用できる食堂，カフェ，コンビニの導入の検討	【その他】 ・高知城景観に配慮した高さ・屋上のデザイン ・高知の風土に配慮したデザイン ・周辺地域に配慮したデザイン ・積極的な植栽による緑のネットワークの創出 ・高知の自然や場所に応じた緑化の推進	【執務機能】 ・来庁者が利用しやすい部門ゾーニング ・間仕切を設けないオープンなフロア構成 ・連携を考慮したゾーニング・職員動線 ・機能的な執務空間のレイアウト ・利用に応じた会議室の設置 ・衛生的な執務環境 ・受動喫煙防止・健康に配慮した内装材 ・フリーアクセスフロア・設備更新スペースの確保 ・将来的な変化への柔軟な対応 【ＩＣＴ機能】 ・ネットワーク環境・情報システムの構築 ・出退勤管理システムの導入 【施設管理機能】 ・適正な規模の書庫の配置
7	長 崎 市	中核市	437,315	【窓口機能】 ・ワンストップサービスの提供 ・手続きの負担軽減 ・手続き待ちの方への配慮 【アクセス機能】 ・公共交通路線の再編 ・バス停，電停の改善やタクシーベイの整備 【市民交流機能】 ・市民によるイベントや展示など多目的利用が可能な空間 【市民活動支援機能】 ・会議室の市民利用 ・市民との協働を高める執務環境 【情報発信機能】 ・市の情報をまとめて見ることができる場所の設置 ・市の魅力を発信する場所の設置 ・市民活動や地域情報を共有できる場所の設置	【その他】 ・多目的に利用できる広場の設置 ・まちなかにつながる歩きやすい環境の整備 ・公共交通の利便性の確保 ・景観形成への寄与	【執務機能】 ・効率的な執務空間 ・働きやすい環境

他都市における庁舎機能一覧①

資料 4

番号	都市名	区分	人口 (H26.4.1現在)	市民サービス	まちづくり	行政事務
8	那 覇 市	特例市	321,678	【窓口機能】 ・窓口機能の高機能化，ワンストップサービスの推進 ・市民利用の多い窓口などを低層階へ集約配置 ・各種手続きや相談がスムーズに行えるように，関連する窓口の集約配置 ・窓口カウンターは，圧迫感の少ないローカウンターとし，車イス利用者に対応 ・市民の待合スペースは，可能な限り集約配置 【相談機能】 ・プライバシーに配慮したブース，相談室等の設置 【案内機能】 ・総合案内は，来庁者に分かりやすい場所に配置 【アクセス機能】 ・庁舎建物出入口近くに専用また優先利用可能な車イス利用者等の駐車スペースを設置 ・タクシーの乗降場設置を検討 ・駐輪場は，可能な限り収容台数の確保 【市民交流機能】 ・エントランスホールは，市民の憩いの場，市政情報の発信の場として利用できるよう配慮 ・市民開放のためのスペースや会議室等を低層階部に確保（夜間や休日の利用に配慮） 【情報発信機能】 ・市政情報センター（法規市政情報グループ）は，市民が容易に立ち寄れるよう低層階へ配置 【利便施設機能】 ・職員食堂は，職員のみならず市民の利用に配慮し，市民同士の交流や情報交換の場となるよう整備 ・売店の設置		【執務機能】 ・オープンフロア形式の執務室（業務の変化への対応） ・移動可能なローカウンターによる執務室と廊下との区分 ・関連課との連携がとりやすい各課室の配置 ・共用会議室や打ち合わせスペースのバランスよい配置（原則として各課専用の個室は設置しない） ・会議室は，可動間仕切り等を採用 ・通常の業務において定期的かつ特定の目的のために使用する会議室は専用に設置 ・各課に専用に割り当てられた会議室のフレキシブルな使用 【ＩＣＴ機能】 ・各階に，ＯＡ機器等のスペースを計画的に配置 ・庁内設置が必須となるシステムのためのサーバールームを設置 ・フリーアクセスフロアの導入 【文書等保管機能】 ・書庫・倉庫は，可能な限り集約し，原則として各課専用の個室は設置しない ・法令により保管が義務付けられかつ日常的に業務で使用する台帳，レセプト等については，専用スペースを確保 ・書庫スペースの効率的な利用（書類の電子化の促進，適切な文書管理による紙文書の縮減） 【施設管理機能】 ・休憩室は，庁舎内にバランスよく配置し，すべての職員の利用に配慮 ・現場や外勤等の業務を抱える課室を中心に更衣・ロッカー室を確保 ・男女別にシャワー室を設置 ・保健室，メンタルヘルス室及び産業医の執務室を設置
9	茅 ヶ 崎 市	特例市	237,269	【窓口機能】 ・連携型の総合窓口の導入 ・証明書発行業務の一元化（ワンストップサービス） ・フロアマネージャーの導入 ・休日における開庁窓口と閉庁窓口を区画 ・休日・夜間の届出に対応する「休日・夜間の届出受付専用スペース」の検討 【相談機能】 ・総合的な相談窓口の設置 ・ブース型相談窓口によるプライバシーの確保 ・専門的な相談内容に対応した個室型の相談室の設置 【市民交流機能】 ・休憩，待合いのほか，様々な市民活動の成果物の発表，展示スペース等多目的に使用できるロビーの設置 ・交流の場として「市民ふれあいプラザ」をイメージした空間を整備 【利便施設機能】 ・喫茶コーナーの設置 ・キッズスペースの設置 ・金融機関，ＡＴＭ，売店の設置 【情報発信機能】 ・総合案内と連携した情報提供・発信コーナーの整備 ・茅ヶ崎の歴史や文化，特産品などを紹介できるスペースの設置		【執務機能】 ・フレキシブルでゆとりのある執務室 ・日常的に打合せを行う小規模な打合せスペースを執務空間内に配置 ・様々な用途に対応できる会議室の整備を検討 【ＩＣＴ機能】 ・室内の適所に電源コンセント，ネットワーク配線などを配置し，ＩＣＴ機器の利用に配慮した仕様を採用 【文書等保管機能】 ・ＩＣＴを活用した文書管理システムの推進，文書保管量のスリム化による文書保管スペースの確保 ・省スペース化，視認性，開放性に留意したファイリングキャビネット（注８）の設置 ・常時利用する倉庫を事務室に隣接して設置

他都市における庁舎機能一覧①

資料 4

番号	都市名	区分	人口 (H26.4.1現在)	市民サービス	まちづくり	行政事務
10	平塚市	特例市	257,169	【窓口機能】 ・市民利用の多い窓口を低層階に集約配置 ・関連した窓口を同じフロアに集約配置 ・低層階に配置する窓口にワンストップサービスを導入した総合窓口や総合案内の設置、関連窓口の配置などを総合的に検討 ・十分なカウンタースペース、機能的な記載台及び、ゆとりある待合スペースを確保 ・窓口カウンターに、高齢者や障がい者、子ども連れの方などに配慮したローカウンターの設置 ・中層階以上には来庁者数に応じた待合スペースの整備 【相談機能】 ・ブースや仕切り板の採用など相談者のプライバシーに配慮した相談窓口 ・プライバシーの保護に配慮した個室形状の相談室の設置 【アクセス機能】 ・公用車用、来庁者用の駐車場のほか、自転車・バイク用駐車場の整備 ・屋根を設置するなど雨天時の乗降に配慮した障がい者用駐車スペースの設置 ・マイクロバス等大型車の駐車スペースについて配慮 【市民交流機能】 ・情報共有スペースに隣接した協働交流スペースの設置 ・多目的に活用できるスペースを低層階に確保 【情報発信機能】 ・市民・議会・行政が情報を共有できる総合情報コーナーを低層階に確保 ・必要に応じフロアに専門毎に分野別の情報発信機能を持った交流スペースを設置 ・交流スペースのひとつとして簡単な打合せ機能を有したエントランスの設置 【利便施設機能】 ・食堂や売店は市民も利用しやすい場所に配置	【その他】 ・湘南の爽やかな風が流れ、みどり豊かな景観や環境との調和 ・緑地広場づくりや、南から北への緑の連続性と歩行空間の確保に努め、公共施設ゾーンの中心としてやすらぎのある空間の整備 ・既存建物、敷地内及び既存庁舎内の工作物や芸術作品、記念植樹された樹木等は、その親和性や重要性を勘案し、保存や移植について配慮	【執務機能】 ・オープン、フレキシブルな執務空間 ・一般事務室階に来客対応や業務打合用スペースの設置 ・事務室内には、必要に応じて作業・打合せ兼用スペースを設置 ・各フロアには必要に応じて、作業性に優れたコピースペースなどを設置 ・研修や講演会などに利用できる大会議室の設置 ・各フロアに可動間仕切りを採用した中、小会議室の設置 ・OA機器の設置と使用に配慮した会議室の設置 【ＩＣＴ機能】 ・フリーアクセスフロアの導入 【文書等保管機能】 ・保存文書庫とは別に、各階に短期保管用書庫を設置 ・各階に倉庫を設置 【施設管理機能】 ・自動販売機を備えたりフレッシュルームと完全空間分煙の喫煙室を設置 ・職員のプライバシーに配慮し、相談がしやすい健康相談室の設置（衛生面に配慮した医務室機能も併設） ・職員が食事や休憩をする専用の休憩室を男女別に設置（災害対策本部設置時には、仮眠スペースとしても利用可能な和室を想定）
11	甲府市	特例市	193,812	【窓口機能】 ・市民利用の多い窓口は低層階に集約配置 ・歩かせない、迷わせない、待たせないワンストップ窓口サービス ・授乳室や相談室の設置 【相談機能】 ・市民のプライバシーに配慮したカウンターや相談ブースの設置 【案内機能】 ・総合案内窓口を入口付近に設置 【市民交流機能】 ・市民プラザを低層階に配置（閉庁時の施錠開放可能） ・市民広場を配置 【利便機能】 ・市民プラザに近接して飲食スペース等を配置 ・金融機関等の窓口やＡＴＭコーナーの設置 【情報発信機能】 ・市民プラザに近接して情報公開コーナーを配置	【地域産業の振興】 ・地元林業の活性化に資するため、市有林材の活用 【シティプロモーション】（注９） ・観光、物産を紹介できるスペースの設置 【その他】 ・外部空間にポケットパークやプロムナード、緑の整備による休息、憩いの空間の整備 ・市長との談話や対話ができるスペースを低層階に配置	【執務機能】 ・オープン、フレキシブルな執務空間 ・協議内容、規模に合わせた打合せスペースや会議室の設置 【ＩＣＴ機能】 ・フリーアクセスフロアの導入 【文書等保管機能】 ・ローキャビネットと壁面収納を使い分けた効率的な収納スペース ・個人情報の保護

他都市における庁舎機能一覧①

資料 4

番号	都市名	区分	人口 (H26.4.1現在)	市民サービス	まちづくり	行政事務
12	一宮市	特例市	386,429	【窓口機能】 ・市民利用の多い窓口は低層階に集約配置 【相談機能】 ・市民のプライバシーに配慮したカウンターや相談ブース 相談室の設置 【案内機能】 ・総合案内窓口を設け、対面型の案内を基本 【利便機能】 ・ＡＴＭコーナーの設置 【情報発信機能】 ・窓口付近に情報公開コーナーを配置	※意見交換の場，市民協働・交流の場所は，利便性の高い駅前ビルに設置	【執務機能】 ・フレキシブルな執務空間
13	呉市	特例市	236,856	【窓口機能】 ・窓口サービスの向上 【市民交流機能】 ・市民協働の拠点機能の充実 ・誰もが参加しやすい環境の形成	【その他】 ・周辺の景観との調和 ・歴史や地域性の表現	【執務機能】 ・フレキシブルな執務空間 【その他】 ・共用可能な多機能スペースの導入 【ＩＣＴ機能】 ・情報通信技術（ＩＣＴ）の有効活用
14	水戸市	その他	272,267	【窓口機能】 ・市民利用の多い窓口は低層階に集約配置 ・窓口カウンターはローカウンターを基本とし，特性に応じハイカウンターを設置 【相談機能】 ・窓口カウンターにパーティションの設置 ・広聴担当部署，納税や福祉や子育て窓口には，専門の相談室を配置 ・相談室は待合スペースなどの来庁者の多い場所は避けて配置 【案内機能】 ・総合案内窓口を設け，対面型の案内を基本 【市民交流機能】 ・低層階に多目的スペースを設置また，市の情報や行政周知のための利用も想定 【市民活動支援機能】 ・市民協働会議室を設置（閉庁時でも利用可能な配置） ・市民活動団体の紹介や各種展示スペースを低層階に設置 【利便機能】 ・金融機関，ＡＴＭ，食堂，売店を設置 ・公衆無線ＬＡＮなどインターネット環境の整備 【情報発信機能】 ・情報発信スペースは低層階に設置	【その他】 ・周辺の景観との調和，緑化の推進	【執務機能】 ・オープン，フレキシブルな執務空間 ・各階に小会議室，書庫，倉庫を設置 ・事務室内または事務室に近接して打合せスペースを設置 ・大会議室や中会議室は１フロアに集約配置し災害対策本部などの防災センターとして活用 ・中会議室は遮音性のある可動間仕切り等を採用 ・市民協働会議室を設置し，市民と行政の協働事業のための会議や，審議会等附属機関の会議等に利用 ・遮音性に配慮した印刷室を設置 ・セキュリティや空調を整備したサーバー室を設置し各課のサーバーを集中管理 【ＩＣＴ機能】 ・フリーアクセスフロアの導入 【文書等保管機能】 ・総務法制課への引継ぎ文書保管用書庫の配置 ・各階に小規模書庫を配置 【施設管理機能】 ・各階に更衣室を設置 ・職員玄関付近に，屋外作業の職員のための倉庫及び更衣・シャワー室を設置 ・健康管理保健師が常駐する職員健康相談室を設置

他都市における庁舎機能一覧①

番号	都市名	区分	人口 (H26.4.1現在)	市民サービス	まちづくり	行政事務
15	習 志 野 市	その他	165,914	【窓口機能】 ・市民利用の多い窓口は低層階に集約配置 ・関連した窓口を同一フロアに集約 ・複数の手続きを1ヶ所に対応する総合窓口を設置 ・窓口フロアにフロアマネージャーを配置 ・窓口カウンターはローカウンターを基本とし、特性に応じハイカウンターを設置 【相談機能】 ・窓口カウンターへのパーティーションや相談室を設置 【案内機能】 ・総合案内窓口を入口付近に設置 【市民交流機能】 ・懇談などができる待合機能や交流スペースを設置 ・閉庁時にイベント開催などに利用可能なエントランス ・雨天時でのイベント開催に配慮した屋内外の広場整備 【市民活動支援機能】 ・団体活動を支援する機能や、健康診査、軽スポーツができる多目的スペースの検討 【利便機能】 ・銀行A T M，売店，市民レストランを設置 【情報発信機能】 ・地域情報，市政情報を共有できるスペース ・掲示板や展示スペース，情報端末を利用した情報受発信	【その他】 ・周辺の景観との調和	【執務機能】 ・フレキシブルな執務空間 ・会議室は，適正な規模・数量とし，可動間仕切り等を採用 【I C T機能】 ・フリーアクセスフロアの導入 【文書等保管機能】 ・ペーパーレス化による書類量の低減を勘案した収納量・閲覧頻度に応じた収納配置
16	藤 沢 市	その他	421,124	【窓口機能】 ・総合案内を設置しコンシェルジュサービスの検討 ・市民利用の多い窓口を低層階に集約 ・窓口を一元化したワンストップ窓口の導入を検討 ・窓口にタッチパネル式電子案内板，窓口混雑状況案内板などのI C Tを活用した市民窓口機能の強化 ・窓口に隣接して待合ロビー，キッズスペースの設置の検討 【相談機能】 ・窓口カウンターへのパーティーションや相談室を設置のほか，I C Tを活用した相談機能の導入 【市民交流機能】 ・日常の憩いスペースのほか，イベント開催での活用を考慮した屋外スペースやエントランスホールの設置 【利便機能】 ・カフェ，レストラン，A T Mの設置 ・コンビニ設置の検討 【情報発信機能】 ・情報コーナーの設置	【シティプロモーション】 ・観光，物産を紹介できるスペースの設置 【その他】 ・障害者が働ける場所や交流ができる空間整備の検討	【執務機能】 ・フレキシブルでセキュリティに配慮した執務空間 ・利用人数や頻度に応じた共用し利用できる打合せスペースや会議室の配置 ・委員会や審議会ができる全庁舎共用の大会議室は，会議形態に合わせ柔軟に変えられるように整備 【I C T機能】 ・効率的な会議運営のため，会議室のI C T化 【文書等保管機能】 ・電子化の徹底，文書保管量のスリム化，効率的な文書管理を強化し，書庫を各フロアに整備 【施設管理機能】 ・休憩スペース，更衣室，食事スペース ・庁舎内は全面禁煙屋外の喫煙所の設置検討

注釈

- 注1：ICT機能
注2：ユニバーサルフロア
注3：フリーアクセスフロア
注4：ワンストップサービス
注5：ユニバーサルプラン
注6：オープンフロア
注7：ツーストップサービス
注8：ファイリングキャビネット
注9：シティプロモーション

Information and Communication Technology の略称。情報や通信に関する技術の総称。
あらかじめ同じサイズ（幅，奥行き）の机やキャビネットで統一し，均一に配置するレイアウト。組織変更時のコスト削減や備品管理・調達のしやすさなどのメリットがある。
各種配線を床下に露出させることなく，床下に電力や電話，LAN ケーブル等の配線用空間がある二重床構造。
1 か所または，1 回で様々な行政サービスを提供することや，手続きを終えることができる仕組み。
ユニバーサルフロアと同じ。
仕切りや壁の無い開放感のある執務室空間。
従来型の各課の窓口で対応を行うこと。ワンストップサービスに近い形式として，1フロア又は2フロアに各課窓口を集約する窓口事例。
書類保管用の棚。
地方都市が知名度や好感度を上げていくことを目的として，自らのまちの特色や魅力などを他の地域や企業に売り込むこと。

他都市における庁舎機能一覧②

資料 4

番号	都市名	区分	人口 (H26.4.1現在)	議会	危機管理	環境先導
1	青 森 市	中核市	296,215		【災害対応機能】 ・大地震時でも庁舎機能の維持・継続が可能な免震構造の採用 ・災害対策本部機能の設置 ・浸水対策を考慮した庁舎 【バックアップ機能】 ・万全な備蓄体制の構築 ・非常発電設備などによる電源確保 【セキュリティ機能】 ・防犯カメラ等による監視の検討 ・緊急呼出ボタン等の設置 ・来庁者と職員等の立入区分を適切な分離 ・入退室管理等の導入の検討 ・ＩＣカード等による入室制限の検討	【利用空間】 ・わかりやすい案内サインと誘導設備 ・段差の無いバリアフリー空間 ・利用者に配慮した駐車場計画 ・玄関ホール、各階エレベーターホールなどにベンチなどの休憩スペースの設置 【利用設備】 ・誰もが安心して使えるトイレ ・キッズコーナーや授乳室などの設置 【省エネルギー化】 ・自然採光、自然通風の確保 【新エネルギー導入】 ・地中熱、太陽熱の利用 ・雨水、融雪水の有効活用
2	秋 田 市	中核市	319,497	【議場】 ・音響設備、放送用設備、電子表決システムなどＩＴ化の導入の検討 【その他関連諸室】 ・委員会室は複数室が一体的に利用可能な構成	【災害対応機能】 ・災害対策本部として十分なスペースの確保および機器・設備の設置 ・災害対策関連諸室の連携に配慮した配置 ・非常食および防災資機材の備蓄倉庫の設置 【バックアップ機能】 ・災害対応に配慮した多目的スペースや駐車場を設置 ・災害対策本部などとの関係に配慮した配置 ・電力供給の２系統化 ・災害に強い情報設備の導入 ・給水機能・排水機能の性能向上 【セキュリティ機能】 ・防犯カメラ等による監視の検討 ・防犯通報装置の設置の検討 ・ＩＣカード等による入室制限の検討 ・電子情報の漏えい防止システムの導入	【利用空間】 ・誰もが安心して使える駐車場の整備 ・誰もが安全で歩きやすい通路・廊下幅の確保 ・誰もが安全に利用できるエレベーターの設置とエスカレーターの導入の検討 ・わかりやすいサインを、見やすい位置、必要な場所に設置 ・接遇・介助などの人の手による対応を充実 【利用設備】 ・誰もが利用しやすい窓口フロアを実現 ・誰もが安全に安心して使えるトイレの充実 ・子ども連れへの配慮 ・休憩スペースの確保 【省エネルギー化】 ・自然エネルギーを活用した省エネ・省資源の推進 ・緑化の推進 ・自然採光による明るい庁舎の実現 ・自然換気による快適な庁舎の実現 ・積雪・寒冷地に配慮した庁舎の実現 【ライフサイクルコスト（注1）の縮減】 ・省エネルギー化による運営管理コストの縮減 ・長寿命化による運営管理コストの縮減

他都市における庁舎機能一覧②

資料 4

番号	都市名	区分	人口 (H26.4.1現在)	議会	危機管理	環境先導
3	長野市	中核市	384,202	【議場フロア】 ・議会機能が十分に発揮できる関係諸室の確保 ・セキュリティの確保 【議場】 ・出席情報，質問席映像，採決システムなどＩＴ化の導入 ・市民に開かれた議会の実現 ・議場の多目的利用（市民利用） 【議会公開】 ・庁内モニター，テレビ放送用の機能整備 【その他関連諸室】 ・委員会室は複数室が一体的に利用可能な構成 ・議員控室は会派の変動に柔軟に対応できるよう検討	【災害対応機能】 ・防災拠点として必要な強度・構造を確保 ・免震構造（注２）の採用など，防災施設として初動対応に配慮 ・災害時の指揮管理を担う災害対策本部室，災害時の活動拠点となる災害対策室，危機管理防災課事務室をそれぞれのアクセスに配慮し配置 ・総合防災情報システムの画面表示装置等を備えた災害対策本部室（電子会議室） ・総合防災情報システムを支えるサーバールームは，災害対策本部室と同一建物内への配置に配慮 【バックアップ機能】 ・災害発生時に消防車等の緊急車両が安全かつ容易に活動できるスペースを確保できる建物配置 ・敷地内の広場空間，駐車場などを災害発生時における被災者の一時的な避難場所として有効に使えるように整備 ・各種支援活動を行うボランティア，ＮＰＯ団体などの受け入れに転用できるスペースを確保 【セキュリティ機能】 ・災害対策の中枢を担う情報収集，指令発令機能は，十分なセキュリティを確保 ・来庁者と職員の動線を考慮したセキュリティの明確化 ・休日，夜間及び部分開庁時のセキュリティの確保	【利用空間】 ・高齢者や障害のある方にも配慮し，駐車スペースから庁舎へのスムーズな動線を確保 ・歩行者の安全に配慮し敷地周辺部には歩行者空間を設置 ・緩勾配のスロープや階段，ゆとりある通路確保により，使いやすい移動空間を整備 ・分かりやすいサイン ・低層階にエスカレーターの設置 【利用設備】 ・授乳室，キッズスペースの設置 【省エネルギー化】 ・自然採光，自然通風の確保，雨水や地下水の活用 ・断熱性の向上 【新エネルギー導入】 ・地中熱，太陽熱，バイオマス（注３）の利用 【環境配慮への取り組み】 ・建築副産物の発生抑制及び再利用 ・自然材料の採用 ・敷地内緑化，屋上緑化，壁面緑化など熱負荷低減とヒートアイランド現象の抑制 ・建物の長寿命化 ・ＣＡＳＢＥＥ（注４）の高水準の評価 ・低炭素社会の実現への情報発信や啓蒙
4	岐阜市	中核市	415,113		【災害対応機能】 ・優れた耐震性の確保 ・非構造部材や書棚類の固定，補強 ・庁舎及び庁舎維持設備の浸水防止 ・災害対策本部の機能を発揮するスペースの確保 ・災害対策本部の運営に必要な設備の整備 ・職員の24時間従事体制に対応する食糧及び飲料水の確保 ・非常時優先業務の継続に必要な執務空間やスペースの確保 【バックアップ機能】 ・電力，給水の確保 ・排水機能の維持 ・通信回線の多重化 【セキュリティ機能】 ・セキュリティレベルの分類（一般，職員，特定） ・セキュリティシステムの適切な導入 ・時間外における来庁者動線の適正化 ・サーバ機器の適正管理	【利用空間】 ・ユニバーサルデザイン（注５）の考え方を取り入れた整備の推進 【利用設備】 ・誰もが安心・快適に利用できる多機能トイレの設置 【省エネルギー化】 ・庁舎敷地内における積極的な緑化 ・環境負荷の低減と周辺環境の保全 【ライフサイクルコストの縮減】 ・標準品等の積極的採用 ・大型機器の更新時に活用する搬出入口の確保

他都市における庁舎機能一覧②

資料 4

番号	都市名	区分	人口 (H26.4.1現在)	議会	危機管理	環境先導
5	下 関 市	中核市	276,369	【議場フロア】 ・議会施設は独立性が確保できる最上階に設置 ・議場をはじめとする各スペースは、議員定数の変動にも柔軟に対応できるように配慮 ・開かれた議会を目指し、議会ゾーンまで一般市民が利用しやすい動線を確保 【議場】 ・傍聴席やそこに至る動線に対して、ユニバーサルデザインに配慮 ・議場の床はフラットではなく、段床式又は傾斜床を基本として検討 ・議場への電子投票システムの導入を検討 【議会公開】 ・市民交流スペース等に議会の様子を映し出す設備の設置 ・閉会時における議場や委員会室の活用を検討する 【その他関連諸室】 ・市民の傍聴が可能な委員会室を設けることを検討 ・図書室は十分なスペースを確保 ・議員数に対応した議員控室を確保 ・プライバシーを確保できる応接室を設置 ・傍聴者用ロビーの設置を検討 ・委員会室等でのパソコン利用など、ＩＴ環境の整備 ・チャイルドルームの設置など、子供連れの傍聴者への対応を検討	【災害対応機能】 ・平常時には共用会議室としても利用可能な災害対策本部及び対策室（会議室）を設置 ・本庁舎棟（市長室）との連絡に配慮した位置に防災安全課を近接配置 ・24時間防災体制を確立し、万一の災害時に消防局との情報の一元化を図るシステムの構築を検討 【バックアップ機能】 ・災害復旧用の資機材や備蓄食料等の保管機能（備蓄倉庫）を設置 ・災害時の飲料水確保のための貯水槽（緊急遮断弁付き）や便所などの排水機能を確保するための排水槽の設置を検討 ・庁舎全体の非常電源設備とは別に、災害対策拠点にさらなるバックアップとしてサブ非常電源設備の設置を検討 ・災害対策型トイレの設置を検討 ・災害等緊急事態に対応できる多目的スペースの検討 【セキュリティ機能】 ・業務用エレベーターや出入口の設置など、来庁者動線と業務動線を区分 ・個人情報や第三者に漏れてはならない行政情報等の保護のための十分なセキュリティシステムを導入	【利用空間】 ・窓口、通路、トイレ、エレベーター等、庁舎内全てにおいてユニバーサルデザインを基本とする ・分かりやすいサイン 【利用設備】 ・障害者、高齢者、妊婦、子供連れなど、幅広く利用できる広さと設備を備えた多目的トイレを設置 ・エレベーターは車椅子利用者、聴覚障害者、視覚障害者等に配慮したものとするとともに、ストレッチャーが入る大きさのものを設置することを検討 ・キッズコーナーや授乳室の設置 ・高齢者や障害者などが利用できる休憩コーナーの設置
6	高 知 市	中核市	336,845	【議場】 ・音響、映像設備、採決システムなどＩＴ化の導入 ・市民のための議場等見学機会の創出 【議会公開】 ・カメラによる中継システム（市民ロビーなどでの放送） 【その他関連諸室】 ・議員控室は会派の変動に柔軟に対応できる可動間仕切りの導入の検討	【災害対応機能】 ・免震構造の導入の検討 ・万全な備蓄体制の構築 ・浸水対策を考慮した庁舎（床の浸水レベルを高位置に設定、電気室・機械室の上層階設置） ・一時避難スペースの確保（会議室やロビー空間の開放） ・災害時の指揮命令機能の確保 ・災害時24時間対応のための仮眠室等の配置 【バックアップ機能】 ・自家発電設備による３日間の電源確保 ・給水・排水機能の確保（耐震性貯水槽や井戸の活用検討、非常用汚水貯留槽、マンホールトイレ） ・情報通信機能の確保（引込みの多重化、電源の２重化、無停電装置） 【セキュリティ機能】 ・外部民間データセンターへの情報システムの移設 ・庁舎内バックアップサーバー室の整備 ・来庁者動線と業務動線を区分 ・ＩＣカード等による入室制限の検討 ・夜間窓口の計画等による防犯面への配慮 ・防犯カメラ等による監視の検討	【利用空間】 ・分かりやすく明快な動線計画 ・段差や死角のない廊下・通路の計画 ・利便性を踏まえた昇降機・階段の設置 【利用設備】 ・高齢者、障害者など誰もが使いやすいトイレの設置 ・キッズスペースや授乳室の適切な配置 【省エネルギー化】 ・効率的かつ効果的な省エネルギー技術の導入 ・ライフサイクルコストの低減・長寿命化等の推進 【新エネルギー導入】 ・新エネルギー・資源の有効活用による環境配慮 【ライフサイクルコストの縮減】 ・長寿命・エコマテリアルの採用 ・適正使用・適正処理

他都市における庁舎機能一覧②

資料 4

番号	都市名	区分	人口 (H26.4.1現在)	議会	危機管理	環境先導
7	長 崎 市	中核市	437,315	【議場フロア】 ・議会の独立性を保ちつつ市民にわかりやすい動線の確保 ・議会フロアへの入室者等について、議会事務局職員が出入りを確実に把握できるようセキュリティを考慮した配置 【議場】 ・現庁舎の諸設備については、維持したうえで、新たな機能を確保 ・ＩＴ化の導入 【議会公開】 ・議会フロア及び議会フロア以外の庁舎内に、議会情報を掲示できるスペースを確保	【災害対応機能】 ・耐震安全性能の確保 ・免震構造の採用を基本とする ・災害対策本部機能の設置 ・万一の浸水に備えた対応 ・コンピューターシステム・データの確実な保全 ・ライフラインの確保 ・帰宅困難者等、一時的な避難場所としての機能確保 【バックアップ機能】 ・災害時の避難経路の確保 ・災害に備えた体制づくり ・防災・災害情報の発信	【利用空間】 ・誰もが安全で使いやすい空間・設備 ・分かりやすい案内・誘導 【省エネルギー化】 ・雨水利用，節水機器の採用など水資源の有効活用 ・建物及び建物周辺の緑化 ・断熱性向上，日射のカット ・人感センサー，高効率・長寿命機器の採用など電力負荷の低減 ・自然採光，自然通風の確保 ・自然エネルギーの活用 ・照明器設備、空調設備等の効率的な制御による電気使用量の抑制 【新エネルギー導入】 ・太陽熱の活用 【ライフサイクルコストの縮減】 ・経済的でコンパクトな庁舎 ・将来の変化への柔軟な対応ができる庁舎 【環境配慮への取り組み】 ・長期間使用可能な建物（維持管理，高耐久性，更新性，再利用等）
8	那 覇 市	特例市	321,678	【議場フロア】 ・議事堂は，議会の独立性を保ちつつ，市民に開かれた施設となるよう議場，事務局及び市民利用スペース等を適切に配置するとともに，必要な施設を同一階に配置 【議場】 ・議場は，将来の議会改革にも対応できるよう，柔軟性のある整備を行う ・議場の傍聴席は，市民が利用しやすいよう配慮 【議会公開】 ・議会中継を行うための放送設備を整備する 【その他関連諸室】 ・多目的に利用できる可動間仕切り等を備えた会議室を整備する ・委員会室は，休会中等，議会の利用がない時は，他の利用ができるようレイアウトや配置を配慮 ・議会情報の閲覧や談話が可能なロビーを確保 ・委員会室の十分な傍聴スペースの確保に努める ・会派数の増減に対応できるような会派控室の構造 ・市民相談室の確保 ・各議員の議会活動に資するよう図書室等の整備 ・各諸室の必要に応じ，セキュリティや防音対策，プライバシーの確保等の配慮	【災害対応機能】 ・耐震安全性能の確保 ・床の浸水レベルを高い位置に設定，電気室・機械室を上層階に設置するなど台風などの暴風対策，洪水による浸水対策 ・庁議室は，災害時等における対策又は警戒本部としての機能を果たすよう整備 ・災害対策の中枢を担う地域災害情報を把握する機能や設備，災害時でも停止しない情報システム機能を確保し庁議室に隣接して配置 ・自動体外式除細動器（ＡＥＤ）の設置 【バックアップ機能】 ・自家発電システムの導入又は電力の複数系統化 【セキュリティ機能】 ・庁舎内のゾーニングを明確にし，市民に開放されたスペースの確保と，個人情報や行政情報の保護，夜間や休日等におけるセキュリティの確保 ・特に高いセキュリティが求められる室や範囲についてはＩＣカードなどによる入退出管理 ・業務時間外の警備体制補完のため防犯カメラなどの設置	【利用空間】 ・庁舎内外の主要な動線の十分な広さを確保と，段差の解消を図り，必要箇所への点字ブロック，手すりを設置 ・庁舎敷地内の歩行者用通路を妨げないよう，駐車場と駐輪場の位置を配慮 ・庁舎の出入口は，来庁者から分かりやすいよう配置 ・盲導鈴，点字プレート等の設置による円滑な誘導方法を検討 【利用設備】 ・だれにでも利用できる多機能トイレを各階に配置 ・授乳室，おむつ交換台及びチャイルドルーム等を設置 【省エネルギー化】 ・敷地内舗装は，保水性又は透水性のある舗装材を使用 ・外部からの熱負荷を低減するため庁舎建物の向きや室の配置についての考慮 ・自然採光，自然通風の確保 ・雨水や再生水の利用及び節水システムの導入 ・電力負荷の低減及び平準化 【新エネルギー導入】 ・太陽光発電等の自然エネルギーの効果的利用の検討 【環境配慮への取り組み】 ・敷地内緑化，屋上緑化，壁面緑化など熱負荷低減とヒートアイランド現象の抑制 【ライフサイクルコストの縮減】 ・将来の変更等に柔軟に対応できるよう，室レイアウト等の変更を考慮した平面計画及び建材を採用 ・室レイアウト等の変更を考慮した設備機器の配置，互換性及び汎用性を確保したシステムの採用

他都市における庁舎機能一覧②

番号	都市名	区分	人口 (H26.4.1現在)	議会	危機管理	環境先導
9	茅ヶ崎市	特例市	237,269	【議場フロア】 ・市議会議場，議会事務局などの諸室配置は，効率性，セキュリティなどを考慮し，庁舎内の同一フロアに配置 【議場】 ・議会議場の議席数は30席程度とし対面質問ができる質問者席を設置 【その他関連諸室】 ・議会議場，会議室，委員会室，全員協議会室，その他各諸室には，ＩＣＴを活用した視聴覚機能などを導入するとともに，ユニバーサルデザインに配慮し，車椅子でも十分通行可能な通路やスペースを有した空間整備を行う ・議会機能のある階にＩＣＴの活用も視野に入れた議会情報コーナーなどを併設した議会図書室を設置	【災害対応機能】 ・消防本部・通信指令室の一体化 ・関係機関との連携と市民への情報発信機能の確立 ・災害時の対策活動に活用できるロビーなどは，ボランティアの活動拠点に活用する多目的スペース，備蓄倉庫及び一時的な避難対応などへの利用を検討 ・規模災害時の救援物資や防災活動に有効に機能するヘリコプター用のホバリングスペースなどの設置を検討 ・地震，津波，冠水などの大規模な自然災害に対応 【バックアップ機能】 ・交流スペースは，災害対策本部などとの連携も視野に入れ，災害時に一体的に機能するような配置を検討 ・災害時に必要な活動が行えるようにライフラインを多系統確保するために，自家発電システムや貯水槽の設置などを検討 【セキュリティ機能】 ・休日の開庁窓口と閉庁窓口を区画し，休日開庁時のセキュリティの確保	【利用空間】 ・低層フロアにエスカレーターの設置 【利用設備】 ・キッズコーナーの設置
10	平塚市	特例市	257,169	【議場フロア】 ・議会機能が十分発揮されるよう必要な諸室を確保 ・議場の形式と諸室のレイアウト，施設・設備機器の仕様等を設定し，セキュリティにも配慮し，市民等に開かれたレイアウトに配慮 ・議会フロア直通エレベーターの設置 【議場】 ・議会空間の市民利用の可能性など多目的利用の検討 ・ＩＴ化の導入 【その他関連諸室】 ・委員会室は複数室が一体的利用が可能な構成 ・議員控室は会派の変動に柔軟に対応できるよう検討	【災害対応機能】 ・耐震安全性能の確保 ・防災危機管理部と消防本部は連携のとりやすい位置とし市長室等と近接して配置 ・情報収集室，無線通信室，消防指令センター以外の諸室は，平常時，研修室や会議室として利用 ・消防指令センター等の機器の入れ替えに対応できる配置 ・大雨，洪水による浸水対策 ・災害時，災害対応従事に支障のない，セキュリティや配置構成 【セキュリティ機能】 ・庁舎のセキュリティを高める，身分証明書のＩＣカード化等の導入を検討 ・必要に応じて防犯カメラの設置を検討 ・来庁者と職員等の立入区分の適切な分離 ・閉庁時に玄関ホール・多目的スペース・会議室などを市民利用できるセキュリティ設定	【利用空間】 ・エレベーターやエスカレーターなど誰もがスムーズに移動できる方法を検討 ・わかりやすい案内表示，外国人对応表示をはじめ，点字誘導，音声案内などの導入を検討 ・庁舎への安全なアプローチに配慮 【利用設備】 ・各フロアに車椅子使用者，オストメイト，乳幼児連れの親子などに対応できる「みんなのトイレ」を設置 ・子ども連れの市民がよく利用する窓口のあるフロアには授乳やオムツ替えのできるスペースとキッズスペースを配置 【省エネルギー化】 ・深夜電力を活用した設備の導入を検討 ・コ・ジェネレーションシステム（注6）の検討 ・フロアごとの電力使用量等がわかる装置の導入検討 ・雨水の活用，雨水貯留タンクの設置の検討 ・フロアごとの室温調整が可能な空調設備を導入 ・執務スペースは，十分な自然採光に留意し，自動調光の採用により照度管理を徹底 【新エネルギー導入】 ・太陽熱の活用 【ライフサイクルコストの縮減】 ・建築時，省資源製品を活用し，建物ライフサイクル全体で，省エネルギー及び省資源に配慮 【環境配慮への取り組み】 ・敷地内緑化，屋上緑化，壁面緑化など熱負荷低減とヒートアイランド現象の抑制

他都市における庁舎機能一覧②

資料 4

番号	都市名	区分	人口 (H26.4.1現在)	議会	危機管理	環境先導
11	甲府市	特例市	193,812	【議場】 ・対面式 ・傍聴席は議員側，行政側，双方に視線が行き届くように工夫 【議会公開】 ・庁舎内にディスプレイを設置し，議会開催状況を発信 【その他関連諸室】 ・委員会室・議会会議室には傍聴スペースを備え，気軽に傍聴できる空間として整備 ・議員控室は会派構成の変化に対応 ・議会図書室は，誰もが利用しやすい開放的でわかりやすい空間	【災害対応機能】 ・大地震時でも庁舎機能の維持・継続が可能な免震構造の採用 ・災害対策本部機能の設置 ・災害対策活動に利用できる，市民プラザ，市民広場の設置 【バックアップ機能】 ・自家発電機や貯水槽の設置 【セキュリティ機能】 ・機械設備や防犯設備等を一元管理するシステムの導入 ・個人情報を管理するシステムの導入	【利用空間】 ・駐車場から庁舎へのスムーズな動線の確保 ・使いやすく分かりやすいサイン計画 ・上下階の移動をスムーズにするエスカレーターやエレベーターの設置 【利用設備】 ・各階に多目的トイレ，低層階にはオストメイト対応 ・窓口付近に授乳室の設置 【省エネルギー化】 ・自然採光，自然通風の確保 ・省エネに役立つシステムの導入 ・高性能ガラス，十分な断熱，屋上緑化 ・庇や樹木による日射のカット 【新エネルギー導入】 ・太陽熱の利用 ・雨水の有効活用 【環境配慮への取り組み】 ・建物の長寿命化
12	一宮市	特例市	386,429	【議場】 ・傍聴席を増やすなど利用しやすい議会傍聴の充実 【議会公開】 ・インターネットでの議会活動を配信 ・市民ロビーにモニターを設置し，議会開催状況を発信	【災害対応機能】 ・免震構造，制震構造（注7）などの耐震性に優れた構造 ・消防活動のしやすい配置 ・災害対策本部機能の設置 ・災害対策活動に利用できる広場空間の設置 【バックアップ機能】 ・電力，通信の途絶対策（自家発電機の設置など） ・電気設備，給水設備の信頼性の向上対策 【セキュリティ機能】 ・個人情報を管理するシステムの導入 ・来庁者と職員等の立入区分の適切な分離 ・夜間，休日利用範囲の適切な分離	【利用空間】 ・庁舎周辺案内表示の徹底 ・電光表示，音声案内などを分かりやすい庁舎内案内表示 【利用設備】 ・各階に車いす利用者，オストメイト対応の多機能トイレの設置 ・キッズコーナーや授乳室などの設置 【省エネルギー化】 ・自然採光，自然通風の確保 ・昼光に連動する自然調光システムの採用 【新エネルギー導入】 ・地中熱利用 ・太陽熱の利用 【環境配慮への取り組み】 ・緑化によるヒートアイランド現象の抑制 ・熱帯材型枠の使用料の削減 ・ノンフロン材の採用 ・リサイクル製品，再生建材，副産物などの再利用 ・建物の長寿命化
13	呉市	特例市	236,856		【災害対応機能】 ・防災拠点機能の強化 【セキュリティ機能】 ・セキュリティー機能の充実	【利用空間】 ・ユニバーサルデザインへの配慮 【省エネルギー化】 ・環境負荷の低減

他都市における庁舎機能一覧②

資料 4

番号	都市名	区分	人口 (H26.4.1現在)	議会	危機管理	環境先導
14	水戸市	その他	272,267	【議場フロア】 ・議会機能は同一フロアの集約配置 【議場】 ・ＩＴ化の導入	【災害対応機能】 ・耐震安全性能の確保，外構の沈下対策など災害時の 応急復旧活動への迅速な着手 ・床の浸水レベルを高い位置に設定，電気室・機械室を上 層階に設置するなど台風などの暴風対策，洪水による浸 水対策 ・消火，救急，救助活動に配慮した庁舎配置 ・災害対策本部会議室，災害対策本部事務局室，記者会 見室，通信室，備蓄倉庫，仮眠室の設置 ・日常的に防災教育や啓発を目的として啓発スペースの 設置 【バックアップ機能】 ・電気として３日程度の必要電気量の確保 ・水として４日程度の必要水量の確保 ・トイレ（雑排水）として７日程度の必要排水量の確保 ・通信回線の複数系統化 ・防災上の重要機器や基幹業務システムの保護のため， 無停電電源装置の設置 【セキュリティ機能】 ・来庁者と職員等の立入区分の適切な分離 ・セキュリティカードによる入退管理システムの導入 ・業務用エレベーターの設置など，来庁者動線と業務動線 を区分 ・不審者情報などを一元的に管理できるシステムの導入 ・業務時間外の警備体制を強化する防犯カメラの設置	【利用空間】 ・安全で快適に移動でき，利用しやすい設備の整備 ・分かりやすいサイン ・窓口機能を集約した低層階にエスカレーターを設置 【利用設備】 ・各階に多目的トイレの配置 ・授乳室，キッズルームの設置 【省エネルギー化】 ・自然採光，自然通風の確保 ・省エネに役立つシステムの導入 ・高性能ガラス，十分な断熱 ・庇やルーバーによる日射のカット ・雨水貯留槽（注８）の設置 ・省エネ型や人感センサーや調光型の照明の採用 【新エネルギー導入】 ・太陽熱の活用 【環境配慮への取り組み】 ・建物の長寿命化 ・スケルトンインフィル（注９）の導入 ・エコマテリアル（注１０）の使用を検討 ・内装材や備品などに木材の利用を検討 ・ＣＡＳＢＥ Ｓランクを目指す
15	習志野市	その他	165,914	【議場】 ・ＩＴ化の導入 ・議会開催時以外での多目的利用ができる開かれた議会 【その他関連諸室】 ・議員控室は防音・セキュリティを確保し，将来の面積の 変動にも対応できる計画	【災害対応機能】 ・災害対策本部として複数系統化する情報システム・情報 通信設備を整備 ・災害対策本部は，初動体制の確保，組織間・消防との連 携に配慮した配置 ・防災機能を持つ広場を整備し，消防庁舎と連携した防災 拠点機能を整備 ・避難や救助活動スペース，緊急時のヘリコプターが離着 陸できる広場 【バックアップ機能】 ・自家発電機や備蓄倉庫の設置，インフラ機能の維持 【セキュリティ機能】 ・個人情報や行政情報の漏えいを防ぐセキュリティの強化 ・重要室にはＩＣカード等による入室管理の強化 ・窓口カウンターなどを設置し，来庁者と職員等の立入 区分の適切な分離 ※庁舎建替えにあわせ，消防庁舎の建替えも含めた計画	【利用空間】 ・段差のないバリアフリー，分かりやすいサイン ・聴覚障害者に配慮した磁気ループ 【利用設備】 ・多目的トイレの適正配置 ・授乳室の設置 【省エネルギー化】 ・自然採光，自然通風の確保 ・省エネに役立つシステムの導入 ・高性能ガラス，十分な断熱，屋上緑化 ・庇や樹木による日射のカット ・ＬＥＤや節水型便器などの省エネや長寿命機器の導入 【新エネルギー導入】 ・太陽熱や地中熱，雨水の有効活用 【環境配慮への取り組み】 ・建物の長寿命化

他都市における庁舎機能一覧②

資料 4

番号	都市名	区分	人口 (H26.4.1現在)	議会	危機管理	環境先導
16	藤 沢 市	その他	421,124	【議場フロア】 ・セキュリティの確保と、機能性・市民利用の両立 【議場】 ・音響設備，インターネット配信，電子表決システムなど ＩＴ化の導入 【その他関連諸室】 ・委員会室は可動間仕切りを採用し柔軟な運用を検討 ・議員控室は会派の変動に柔軟に対応できるよう検討	【災害対応機能】 ・耐震性の確保と，ホバリングスペースの設置の検討 ・災害対策本部と災害対策関連諸室間の連携が機能する 配置検討 ・被災状況の情報を的確に把握できる情報通信設備機器の 検討 ・災害救援ボランティアセンター機能整備 【バックアップ機能】 ・備蓄庫の整備 ・電気・通信の複数系統化，非常電源の確保，給排水設 備の耐震性能強化，水の貯留装置の設置 ・車両の燃料補給を可能とする自家用給油取扱所の導入 検討 【セキュリティ機能】 ・個人情報漏えいを防ぐセキュリティの強化 ・ＩＣカード認証システムの導入による，セキュリティ レベル設定の採用検討 ・来庁舎と職員の出入り口や階段やエレベーターの分離 ・防犯カメラや緊急通報装置の設置検討	【利用空間】 ・分かりやすいサイン 【利用設備】 ・多目的トイレの適正配置（オストメイト対応） ・授乳室，キッズルームの設置 【省エネルギー化】 ・自然採光，自然通風の確保 ・ＢＥＭＳ（注１１）など運転管理システムの導入の検討 ・断熱性，気密性の向上 ・屋上緑化 ・日射のカット ・効率のよい設備機器，照明・空調センサー等の制御装置 燃料電気システム，電気自動車充電器の設置の検討 【新エネルギー導入】 ・太陽熱や雨水の有効活用 【環境配慮への取り組み】 ・敷地内緑化，屋上緑化，壁面緑化など熱負荷低減と ヒートアイランド現象の抑制 ・建物の長寿命化

注釈

注1： ライフサイクルコスト	建築物等の企画，設計，工事，運用を経て解体処分するまでを生涯として，その全ての期間に要する費用のこと。初期投資（イニシャルコスト）と維持管理費用（ランニングコスト）で構成される。
注2： 免震構造	建物と地盤の間に積層ゴムなどの免震装置を介入することにより，建物自体の揺れを軽減し壊れにくくする構造。揺れないため建物自体の揺れだけでなく家具の転倒も少なくなり室内での被害を大幅に減少させることが可能
注3： バイオマス	家畜糞尿，下水汚泥，生ごみ，籾殻等の生物由来の産業資源の総称。
注4： C A S B E E	財団法人「建築環境・省エネルギー機構（IBEC）」によって開発された，建築物を環境性能で評価するシステム。対象となる建築物の環境性能を，S，A，B+，B-，Cの5段階で評価。
注5： ユニバーサルデザイン	障がいの有無や年齢，性別，国籍にかかわらず，全ての人にとって安全で使いやすい製品や，快適で不便のない生活環境をデザインするという考え方。
注6： コ・ジェネレーションシステム	電気と熱を同時に発生させる熱電併給システム。発電機で電気をつくるときに使う冷却水や発生する排気ガスなどの熱を，給湯や冷暖房などに用いる。
注7： 制振構造	建物内に地震エネルギーを吸収するための制振部材（ダンパー）を設置することで，地震による揺れを抑える事が可能。
注8： 雨水貯留槽	
注9： スケルトンインフィル	建物の柱・梁・床などの構造躯体（スケルトン）と内装・設備（インフィル）などを分離した工法。長期間の耐久性を重視した構造躯体と，変更や更新が容易にできる内装や設備にすることが可能となる。
注10： エコマテリアル	Environmental Conscious Materials（環境を意識した材料）から生まれた造語で，「優れた特性・機能を持ちながら，より少ない環境負荷で製造・使用・リサイクルまたは廃棄ができ，しかも人にやさしい材料（又は材料技術）。
注11： B E M S	Building Energy Management System の略称。建物の使用エネルギーや室内環境を計測し，それらの情報を省エネルギーに役立てていくためのシステム。